

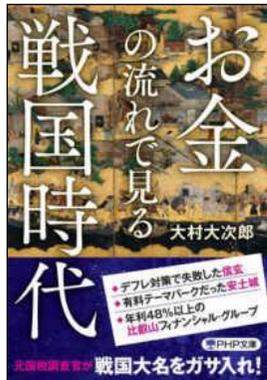
～ 今月の図書案内 ～

2学期が始まりましたね。充実した夏休みを過ごされましたか？
長期休暇中に新しい本がたくさん入荷し、展示も新しく入れ替えましたので、ぜひ図書館に足を運んでください。

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開館時間 8:35～16:45（色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります）

★新着図書のおすすめ本



「お金の流れで見る戦国時代」 大村 大次郎

お金という観点から戦国時代の謎を考察しています。「安土城は現在で言えばレジャーランドだった」「比叡山の金貸しは年利 48～72%」「税金オンチだった武田信玄」など、戦国時代の大名や庶民の以外な一面がわかり、新たな視点で歴史を学べる本です。

★図書館からのおすすめ本



「甘美なる誘拐」 平居 紀一

ヤクザの見習いの2人は上司の指示で誘拐を行うが、次々に予想ができない事態に巻き込まれていく…。様々な人たちが織りなす物語や伏線が、最後に思わぬ形で見事なまとまりを見せます。軽妙なタッチで描かれた、ユニークさが魅力になっています。第19回「このミステリーがすごい！」大賞・文庫グランプリ受賞作。

「ヨンケイ!!」 天沢 夏月

ヨンケイは、4×100メートルリレー(四継)。離島・大島の高校陸上部に、強豪校からの転校生が入部した。4人の男子スプリンターが揃いヨンケイに挑むことになるが、チームワークは最低。バトンを渡すことは、期待ではなく、信頼。ぶつかり合う中でそれぞれが繋がっていく様は、滑らかなリレーを見るようです。



「東京藝大 仏さま研究室」 樹原 アンミツ

東京藝大美術学部大学院の通称「仏さま研究室」の修了制作は、1年かけて仏像一体の模刻。悪戦苦闘する学生4人は、彫刻にさまざまな思いを持っていた。将来への不安は仏像を通して変化していく。「仏さま研究室」が実在するという驚きと、仏像の保存、修復に力を注いでいる東京藝大の特殊性を感じました。



「ヨーロッパの看板図鑑」 上野 美千代

何となくスルーしがちだが、よく見るとユニークで、ときめきを感じさせてくれるアートのような看板を集めた写真集。業種別、形状別、モチーフ別に分かれていて、国による看板の違いを比較するのも楽しい。ヨーロッパの街並みを散歩している気分が味わえ、見るたびに新たな発見がある。



「春にして君を離れ」 アガサ・クリスティー

事件も殺人も全くないが、心理的に揺さぶられる一冊。優しい夫、よき子ども達に恵まれ、理想の家庭を築いたと満足していた主人公。しかし、娘の病気見舞いでバグダッドからイギリスへ帰る途中で出会った友人との会話から、それまでの夫婦・親子関係、友情に疑問を抱きはじめる…。

